

最強の投資手法「スパンモデル」「スーパーボリンジャー」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、「日足スーパーボリンジャー」と「週足スーパーボリンジャー」に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 9 月 8 日終値時点での判断です。内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。(尚、本レポートでは、スパンモデルに関するレポートは省略している点、ご了承ください)

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ & 掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=本格下落トレンド

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陰転継続しており、売り優勢

○トレンド判断と戦略=終値が-1 のラインの下方を推移するかぎり、本格下落トレンドと判断。一方、同ラインの上方で引けると、調整の戻り上昇局面入りする可能性が高まる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場、ドル本格下落トレンド入りするかどうかの瀬戸際、ブル・ベアの分岐点

○遅行スパン(基調トレンド方向)=ローソク足に絡んで推移し、引き続き、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、センターと-3のラインの間でのレンジ相場と判断。一方、今後、遅行スパンが陰転し、週足終値が-1のラインの下方を推移し続け、バンド幅が拡大傾向に転じると、ドル本格下落トレンド入りする点、引き続き注意したい。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー（主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断）

○大局観＝緩やかな上昇トレンド

○遅行スパン（基調トレンド方向）＝陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値がセンターと+3のラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドと判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー（主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断）

○大局観＝本格上昇トレンド継続中

○遅行スパン（基調トレンド方向）＝陽転継続しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝週足終値が+1のラインの上方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、引き続き、ユーロ本格上昇トレンドと判断。尚、週足終値が+2のラインと+1のラインの間を推移しており、依然として、巡航速度の本格上昇トレンドとなっていることが確認できる。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場

○逆行スパン(基調トレンド方向)=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1のラインと-1のラインをコアとするレンジ相場と判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=緩やかな上昇トレンド、調整の反落局面

○逆行スパン(基調トレンド方向)=陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=週足終値がセンター線の上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドと判断。一方、終値が+1のラインの下方を推移するかぎり、調整の反落局面とも読む。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場

○逆行スパン(基調トレンド方向)=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+2のラインと-2のラインの間でのレンジ相場と判断。そして、今後、

相場の放れの際には、トレンドに乗りたい場面と読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場

○逆行スパン(基調トレンド方向)=陽転してきており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、+2のラインとセンターラインの間をコアレンジとするレンジ相場と判断。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=調整の戻り上昇局面、レンジ相場

○逆行スパン(基調トレンド方向)=陰転継続しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=終値が-1のラインの上方を推移するかぎり、調整の戻り上昇局面と判断。終値がセンターラインの上方で推移しており、本格的な調整局面にあると読む。尚、目先、+2のラインとセンターラインの間でのレンジ相場とも読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー(主に価格分析からの判断、スパンモデルより短期の判断)

○大局観=レンジ相場継続中

○遅行スパン(基調トレンド方向)=陽転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、+1ラインと-1ラインの間でのレンジ相場と判断。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試し下さい。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。